

基礎天端レベリング材

レベラー天

テン

プレミックスモルタル

特長

レベルに合わせて流すだけで基礎天端はフラットに仕上がります。ノンブリージングタイプなので浮き水や棚落ちが極めて少なく、流したままの状態での硬化します。又、平滑性が良好で、薄く流してもフラットな仕上がりに変わりはありません。

用途

基礎天端レベリング（基礎天端レベラー）

荷姿、仕様



【荷姿】 クラフト紙 3 P 防湿袋
25kg

【1袋の施工m数】（単位m）

	基礎巾	100mm	120mm	150mm	180mm
厚さ	10mm	16.0	13.3	10.7	8.9
	7mm	22.9	19.0	15.2	12.7



試験結果

試験項目		試験結果			試験方法
容積（W/A）		1 6 . 0 ℓ （ 2 8 % ）			1袋に6.5ℓの水を加えた J A S S 15M-103 （ 5 0 ϕ × 5 1 H ）
フロー値		2 3 0 mm			
	材令	3 日	7 日	2 8 日	J I S R 5021 建研式
圧縮強さ	N/mm ²	1 0 . 8	1 6 . 9	2 4 . 9	
接着強さ		0 . 5	0 . 6	0 . 9	

※カタログデータは、保証値ではありませんので予め御了承下さい。

施工手順

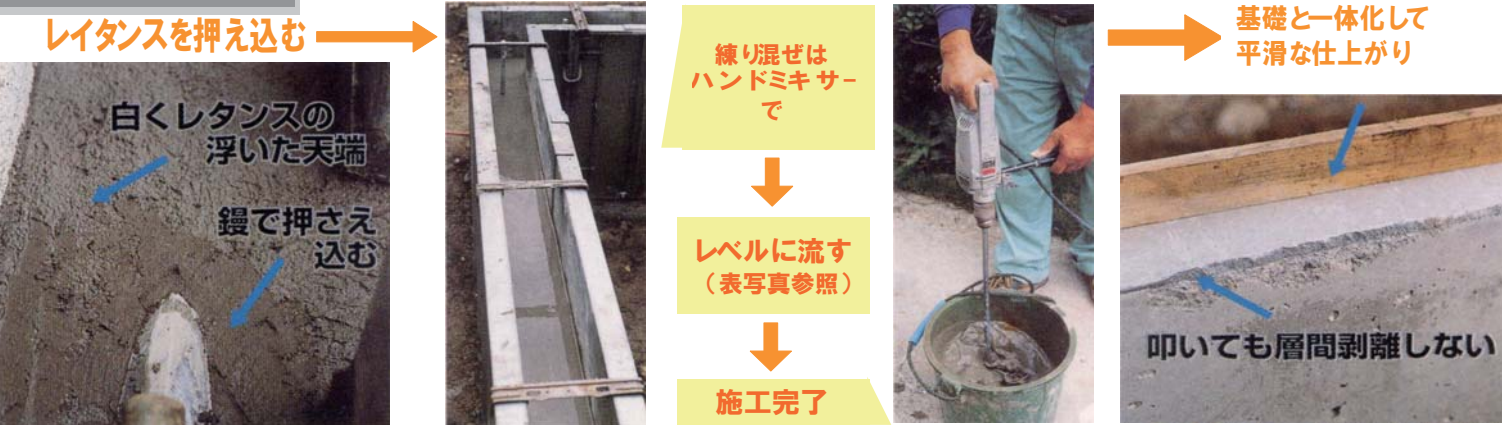
前工程

- レベル出し** 鋼製型枠には磁石、木製型枠には釘を用いて仕上げレベルを出します。
- コンクリート打設** レベルより5～7mm下げでコンクリートを打設します。
- 天端均し** コンクリート天端をタンピングして粗骨材を十分沈め、表層にモルタルを浮かせ、フラットに均します。→続いて **アンカーセット** します。
- 木鏝ずり** コンクリートの浮き水が適度に引いたら凹みに残った溜まり水をふき取り天端表面のレイタンスを押さえ込む様に木鏝をかけます。
※レイタンスは、コンクリートとレベラー天の接着を阻害し、浮きやクラックの原因となります。
この工程は確実に行って下さい。
- 鏝押さえ** 再度金鏝かプラ鏝で押さえます。接着力と仕上がり精度が向上します。

施工

- 練り混ぜ** 練り混ぜは飲料水を用い、正確に計量して練り混ぜます。
- 水の計量** 規定量の水を計ります。(標準水量=6.5ℓ/袋季節で加減して下さい)
- 容器に入れる** 練り混ぜ容器に計量した水を入れます。
- ミキシング** 規定量の **レベラー天** を半分程度容器に入れ、直ちにハンドミキサーで10～20秒間練り混ぜ、続いて残りを全て入れて1～2分間練り混ぜます。この時、攪拌むらが出ない様ミキサーを上下し隅などにも注意して攪拌します。
- 流し** レベルに合わせて一方向から流します。
- 厚さ** 厚さは5～10mmの範囲で流します。コンクリート天端のレベルが良ければ5mmでもフラットに流れます。

施工のポイント



養生

施工が済んだら風よけ（風当たって波を打つ事があります）とドライアウトや凍結防止を兼ねて保護シートをかけます。型枠を外した後、角にバリが出る事がありますが、このような時は砥革スキや砥石を用いてバリを取りをします。

取り扱い時の 注意事項

本製品はセメントを基材とした「業務用」既調合モルタルです。強アルカリ性を有し粉塵がたち易い製品です。取扱いに際しては保護具（保護メガネ・防塵マスク・ゴム手袋）を着用してください。皮膚に付着した時や目に入った時吸引した時誤って飲み込んだ時は直ちに洗浄等の応急措置を施して速やかに専門医の診断を受けて下さい。

製造元

受け継がれる自然の恵み

matsumoto **マツモト産業株式会社**

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市市小井 123
TEL0799-42-5000 FAX0799-42-6612

セメント事業部

〒656-0473 兵庫県南あわじ市榎列上幡多 853-1

TEL0799-43-2820 FAX0799-43-2821

URL:<http://www.matsumoto-group.co.jp>

●販売取扱店